

## 加賀国誕生時代の郷・駅配置図

弘仁十四年(八二三年)二月三日。

越前国より江沼郡と加賀郡を分割し、加賀国を新設する。  
という命令が出た。

次いで加賀国の江沼郡から能美郡を分立する。  
との命令が矢継ぎ早に出されている。「日本記略」

我が能美郡が歴史に出てくるのが遅かった理由には次のような経緯があった。

「越前国から江沼郡と加賀郡を分割し、加賀国を新設する。

加賀郡は遠く国府を去り、往還便ならず、特に降雪時は困苦甚だし  
い。

その上四つの大きな川があり、洪水に遇う毎に何日も通行できない。  
そのため、郡司や郷長の役人も行動の自由がきかないし、住民の農業  
や桑を作るのに指導も出来ない」と訴えている。

越前国の国府は当時武生にあったので、この訴えは無理からぬこと  
でした。

四つの大きな川は、九頭竜川・大聖寺川・梯川・手取川でした。

